

JAバンクあきたにおける 地域密着型金融の取組状況 (平成22年度)

平成23年9月

農林中央金庫秋田支店

JAバンクあきたにおける 地域密着型金融の取組状況(平成22年度)

- JAバンクあきた(秋田県下16JAと農林中央金庫秋田支店)では、農業と地域社会に貢献するため、平成22～24年度JAバンクあきた中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- 平成22年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。



目次

- 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援
(JAバンクあきたの農業メインバンク機能強化への取組み) … P 1
- 2 農業担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P 8
- 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、
農業担い手に適した資金供給手法の提供 … P 13
- 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した
持続可能な農村漁村等地域育成への貢献 … P 17

1 農山漁村等地域の 活性化のための融資を始めとする支援 (JAバンクあきたの農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンクあきたは、地域における農業者との
結び付きを強化し、地域を活性化するため、次
の取組みを行っています。

農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンクあきたは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成23年3月末時点のJAバンクあきたの農業関係資金残高^(注1)は49,353百万円(うち農業経営向け貸付金46,660百万円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は26,435百万円を取扱っています。
- (注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- (注2) JAバンクあきたが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

農業融資商品の適切な提供・開発

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

営農類型	平成23年3月末現在
農業	46,660
穀作	8,385
野菜・園芸	468
果樹・樹園農業	62
工芸作物	34
養豚・肉牛・酪農	3,029
養鶏・採卵	80
その他農業	34,601
農業関連団体等	2,693
合計	49,353

(注)

1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
2. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
3. 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

* 合計値は端数調整しています。

農業融資商品の適切な提供・開発

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成23年3月末現在
プロパー資金	30,816
農業制度資金	18,537
農業近代化資金	2,938
その他制度資金	15,599
合 計	49,353

(注)

1. プロパー資金とはJAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンクあきたが低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは の転貸資金と を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成23年3月末現在
日本政策金融公庫資金	26,409
そ の 他	26
合 計	26,435

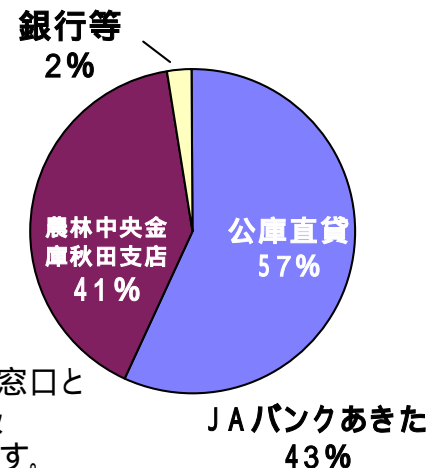
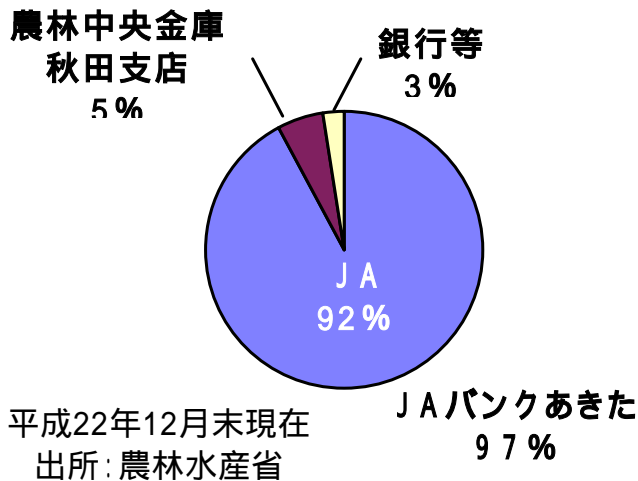
(注)

1. JAバンクあきたでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

農業融資商品の適切な提供・開発

農業近代化資金 融資残高シェア
(平成22年12月末)

日本政策金融公庫 農業資金取扱残高シェア
(平成22年度)



平成23年3月末現在
出所:日本政策金融公庫 農林水産業
「業務統計年報」

JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンクあきたでは、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内16JAの本支店には65人の「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資担当者の活動をサポートしています。
- JAバンクあきたでは、農林中央金庫秋田支店内に「JAバンクあきた農業金融センター」を設置し、JAの活動サポート、支援や農業法人等からの融資相談対応を実施しております。

JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例

JA秋田中央会，JA全農あきた，農林中央金庫秋田支店の共催による，TAC（営農・経済事業職員）・担い手金融リーダー（信用事業職員）合同研修会を実施し，TACの活動等，他の事業部門における農業担い手対策や農業資金に関する知識を深め，農業者の多様なニーズに対応するための研修を行いました。

2 農業担い手の経営の

ライフサイクルに応じた支援

JAバンクあきたは、農業担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

新規就農者の支援

- JAバンクあきたでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【平成22年度新規就農者をサポートする資金の取扱実績】 単位 件・百万円

	実行件数	実行金額	平成23年3月末 残高
就農支援資金	5	23	91

経営不振農家の経営改善支援

- JAバンクあきたでは、平成21年度に新設された負債解消再チャレンジ支援事業（農業経営負担軽減支援資金利用者に対する利子補給等）に基づき、秋田県農業再生委員会において、認定農業者の経営再建に向けて関係機関と協議し、負債農家の再生に向けた取組みの支援しております（平成22年度の認定状況は、23件、372百万円）。

経営不振農家の経営改善支援

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち期中に再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先		1,303	13		1,226	1.0%	
要注意先	うちその他要注意先	278	16	97	157	5.8%	34.9%
	うち要管理先	164	8	51	99	4.9%	31.1%
破綻懸念先		131	11	38	80	8.4%	29.0%
実質破綻先		150	1	17	112	0.7%	11.3%
破綻先		20	0	1	14	0.0%	5.0%
小計(~ の計)		743	36	204	462	4.8%	27.5%
合計		2,046	49	204	1,688	2.4%	10.0%

注)

1. 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成22年3月末時点でのものです。

農業法人とのコミュニケーション強化

- 農林中央金庫秋田支店は、秋田県農業法人協会への加盟を契機に、地域農業の有力な農業担い手である農業法人経営者の皆様と活発に交流を深めています。
- 平成22年度には秋田県農業法人協会と、講師を招いたセミナーを共催し、積極的な交流・情報交換を行いました。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、 農業担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンクあきたでは、農業担い手の
経営実態やニーズに適した資金の
提供に努めています。

負債整理資金による軽減支援

- JAバンクあきたでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成22年度 負債整理資金貸出実績】

単位 件・百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成23年度3月末残高
農業経営負担軽減資金	67	1,065	2,060
畜産特別資金	27	379	1,135
その他	61	519	9,099
合計	155	1,963	12,294

- 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

動産担保融資の活用

- JAバンクあきたでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。
- 秋田県における融資の実績は次表のとおりです。

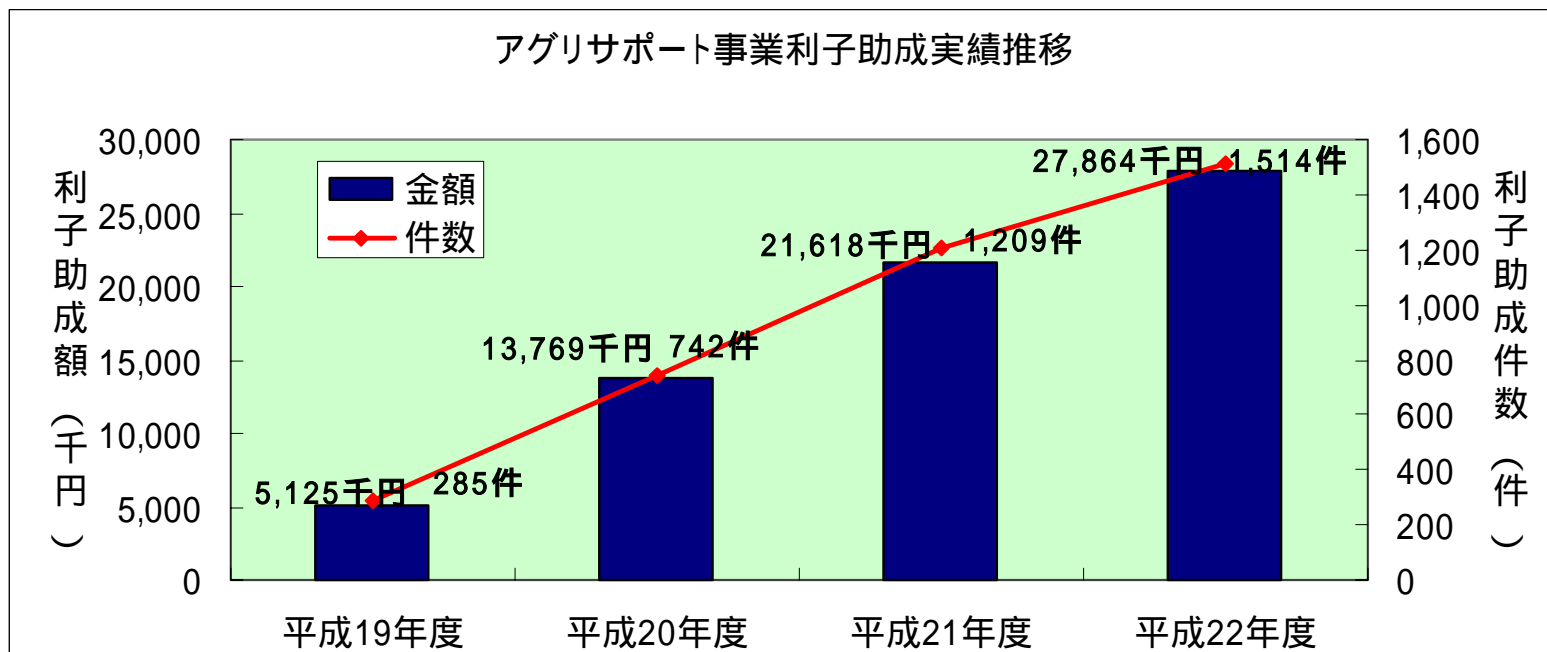
【動産担保融資実績】

単位 件・百万円

種 類	件数	残高
畜産物	1	7

農業融資への利子助成の実施

- JAバンクあきたでは、農業者に対する農機ハウスローン、アグリマイティー資金、スーパーS資金等の融資について、JAバンクアグリ・エコサポート基金から最大1%の利子助成を行いました。



4 農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンクあきたでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

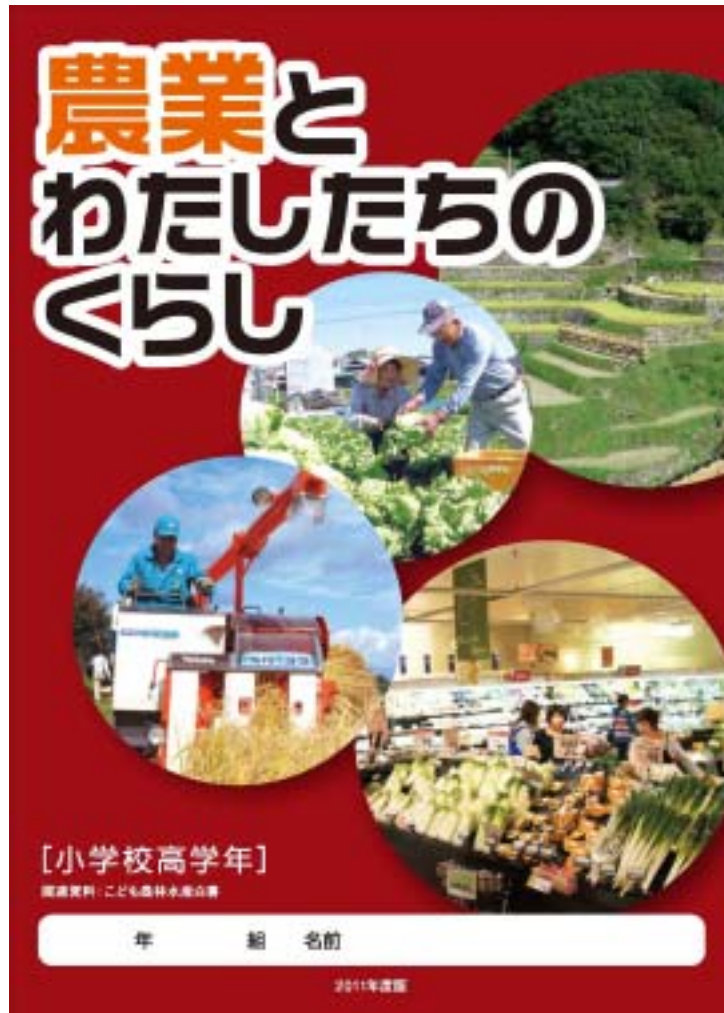
災害被災者への支援

- JAバンクあきたでは、被災者等を支援するため、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件・百万円

取組事例	JA名	内容	実行件数	実行金額
秋田県営農維持緊急支援資金	県下16JA	異常気象(猛暑や豪雪)による被害を受けた農家のために創設された支援資金に対して、秋田県JAグループとして利子補給をおこないました。	543	1,377
各JAの支援資金	県下16JA	各JAにて独自の支援資金を創設し、市町村と連携した無利子資金、異常気象対策資金、戸別所得補償制度にかかる繋ぎ資金等に対応しました。	708	933
家畜飼料特別支援資金	3JA	配合飼料価格の上昇により、生産費が収益を上回る様な水準となった場合に、経営維持のための配合飼料購入に融通する制度資金です。	3	114
合計			1,254	2,424

JAバンク食農教育応援事業の展開



- JAバンクあきたは、子どもたちが、食料を生産する「農」の役割や重要性、自然・社会環境と「農」のつながり等について学び、農業に対する理解を深めていただけるよう、食農教育を中心とする教育活動を行っています。
- JAバンクあきたを通じて、教材「農業とわたしたちの暮らし」を、県下小学校251校の小学5年生へ、約1万セットを無償配布し、学校の授業等で活用されています。

JAバンク食農教育応援事業による活動内容

- 県下16JAにおいても、食農教育などの実践に取り組んでおり、一部を下表のとおり紹介します。

【JAバンク食農教育応援事業による主な活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAかつの	子供達の食農教育	地元の子ども達に農業体験を通じて農業に関心を持ってもらうために、学校農園に種苗供給を行いました。
JAあきた北	ちゃぐりん農園	地元小学生・園児を対象とした農業体験等を行いました。
JA鷹巣町	ふれあい農園	野菜栽培を通じ植物生育と食の大切さを学びました。
JAあきた北央	田んぼの生きもの調査	田んぼと周辺に生息している生き物を採集し、図鑑等の書籍を用いて名前や特徴を調べました。
JAあきた白神	小学生の畑作体験学習	播種や苗の定植、生育観察、案山子コンクール、収穫体験や活動記録発表会など農業体験学習を実践しました。
JA秋田やまもと	農業体験スクール	管内小中学生による農作業体験(じゅんさい摘み取り・稲刈り・リンゴ収穫他)を行いました。

JAバンク食農教育応援事業による活動内容

JA名	活動名	活動内容
JAあきた湖東	秋田の食探検隊	管内小学生親子による収穫体験や、郷土料理について学習しました。
JA秋田みなみ	男鹿春日井児童交流学習会	愛知県春日井市の児童が男鹿市を訪れ、農業体験学習や地引き網体験などを行いました。
JA新あきた	インターネットには載っていないおばあちゃんの味(技)教えます	市内小中学生を対象に、農業体験・地産地消の調理実習・農業体験などを行いました。
JA大潟村	生活指導生活文化活動(市場見学)	小学生を対象に、秋田卸売市場を見学し、農産物の流通について学習しました。
JA秋田しんせい	あぐりスクール	小学生を対象に、作物の種まきから収穫までの農業体験や、調理実習を行いました。
JA秋田おばこ	アグリキッズ探検隊	管内の小学生を対象とした農業体験を行いました。
JA秋田ふるさと	ふるさと農業体験	横手市内小学生親子による農業体験を行いました。
JAおものがわ	(私たちと農業)勉強会	私たちのくらしや環境等と農業との関わりについて考えました。
JAこまち	保育園児農業体験事業	保育園児を対象に青年部によるジャガイモの作付け・収穫体験を行いました。
JAうご	農産物流通経路学習会	市場視察及び流通のしくみについて学習しました。